Panasonic®

ポータブル CD プレーヤー

Portable CD player

Operating Instructions

品番　SL-SX469V

もくじ

操作の前に

CD

ラジオ

音質

ご参考

このたびは、ポータブル CD プレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

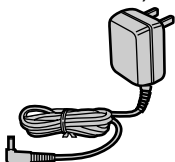
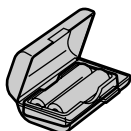
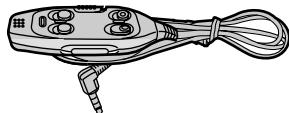
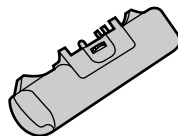
保証書別添付

上手に使って上手に節電

付属品の確認

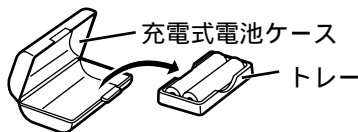
付属品

□ **AC アダプター**
（RFEA415J-1S）

□**単 4 形充電式ニッケル水素電池:2 本**
充電式電池ケース（RXQ0449）の**トレー**（RFE0059）から取り出してご使用ください。

□**ステレオインサイドホン**
（RFEV335P-KS）

□**リモコン**
（RFEV012PCKS）

□**外付乾電池ケース**
（RFA1139-H）

（かっこ内の品番が現品の品番表示と異なる場合がありますが、仕様は同じです。）

■付属品の買い替えについて
サービスルートでお買い求めいただけます。上記かっこ内の品番で、お買い上げの販売店にご注文ください。（単 4 形充電式ニッケル水素電池は別売り品 HHR-4AH/2B（2 本組）をお買い求めください。）

■別売り品でお買い求めいただけるもの
「別売り品と組み合わせて使う」（➡25 ページ）をご参照ください。

■充電式電池ケースの使いかた
充電式電池を持ち運ぶときは、必ずこのケースに入れておいてください。
中のトレーを取り出すと、単 3 形の電池（外付乾電池ケース用）も入れることができますので、必要に応じてお使いください。

安全上のご注意 （必ずお守りください。）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

充電式電池

⚠ 危険

充電は、本機（本体と付属の AC アダプター）を使う

- 本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破損の原因になります。
- 充電式電池も必ず指定のものをご使用ください。

はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破損の原因になります。

⚠ 警告

⊕と⊖をショートさせない

- 電池の液もれや、発熱、破損の原因になります。
- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず充電式電池ケースに入れてください。
- 電池には安全のためビニールのチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。はがれたものは使わないでください。

本体

警告

分解・改造しない

- 本体が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店にご相談ください。

バイクや自動車、自転車などの運転中は、使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- 歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。
- 交通安全のため自動車運転中はCDプレーヤーを操作しないでください。

⚠ 注意

音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 車外の音が聞こえないような音量で聞きながら運転すると、交通事故の原因になります。

ひび割れ、変形したディスクや特殊形状のディスクは使わない

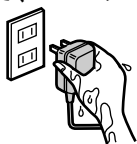
- 高速回転しますので、飛び散ったり、飛び出したりして、けがの原因になることがあります。
- 接着剤などで補修したディスクも同様に危険ですので使用しないでください。

異常に温度が高くなるところに置かない

- 本体表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

AC アダプター

⚠ 警告

ぬれた手で、AC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

- 感電の原因になります。

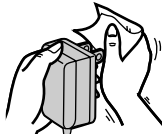
コード・プラグを破損するようなことはしない

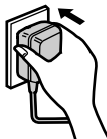
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

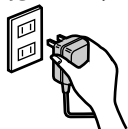
コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流（AC)100 V 以外での使用はしない

- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、AC アダプターを抜いてください。

プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠ 注意

抜き差しはACアダプター本体を持つ

● コードを引っ張ると、コードが傷ついたり、ちぎれたりし、火災や感電の原因になることがあります。

付属のACアダプターを交流（AC）100Vで使う

● 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

カーオーディオとの接続について

警告

運転に支障をきたすところに取り付けない

● 前方視界や運転操作を妨げるところに取り付けると、交通事故の原因になります。

カー電源アダプターのヒューズは指定のヒューズを使う

● 交換時に指定外のヒューズを使うと、火災の原因になります。

電池

⚠ 注意

以下のことを守り、正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **新旧電池や、違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池を充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
  乾電池が入った外付乾電池ケースについても同様です。
- **被覆のはがれた電池は使わない**

● 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
● 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
● 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

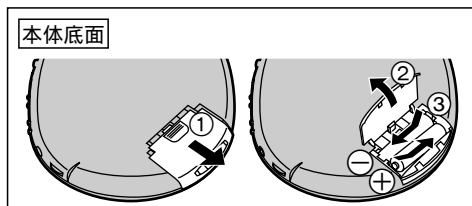
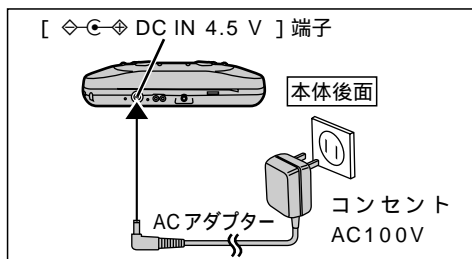
電源の準備

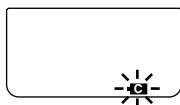
充電式電池で使うには

付属の充電式電池は、必ず充電してからご使用ください。

充電のしかた

1 充電式電池を本体に入れる

付属または別売りの専用充電式電池以外は、充電できません。

2 AC アダプターを接続する

充電開始！

充電中、本体の表示パネルには下記の点滅表示がでます。

点滅表示が消えたら、充電完了（フル充電）です。付属の充電式電池の場合は約 3 時間かかります。

3 充電終了後、[DC IN 4.5 V] 端子とコンセントから AC アダプターを抜く

お知らせ

- 表示パネルに何も表示していない状態でのみ充電できます。（CD 演奏／ラジオ受信中は充電できません。）
- 充電中、AC アダプターと充電式電池は熱を持ちますが、異常ではありません。

■充電時間と CD 演奏／ラジオ受信可能時間

（付属充電式電池の場合）

充電時間	CD 演奏時間（Anti-shock 切／入）／ラジオ受信時間
約 3 時間（フル充電）	約 6 時間／約 8 時間／約 18 時間

■継ぎ足し充電できます

パナソニックの充電式電池なら、電池残量を使いきらなくても、継ぎ足し充電が可能です。

■充電しても持続時間が極端に短いときは

充電式電池の寿命です。

（充電可能回数は約 300 回）

■充電式電池の買い替えは

必ず下記の品番をお買い求めください。

単 4 形専用充電式ニッケル水素電池：HHR-4AH/2B（2 本組）

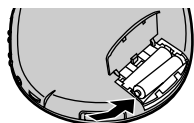
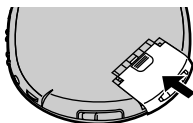
（当社のポータブル CD プレーヤーは、安全確保のため一般の電池は充電できない構造になっています。）

詳しくは、お求めの販売店にご確認ください。

乾電池（別売り）で使うには

電池の出し入れ方法は充電式電池と同じです。
(➡7 ページ)

- 単 4 形アルカリ乾電池（LR03）を 2 本使用。（マンガン乾電池をご使用になると、極端に CD 演奏／ラジオ受信時間が短くなります。）
- 乾電池を入れる前に、AC アダプターを取り外しておいてください。

電池の取り出し方	電池のふたがはずれたら
矢印の方向に押しながら持ち上げる	ふたを水平に差し込む

バッテリー表示が点滅したら

電池が消耗しています。しばらくすると電源が切れます。
改めて充電するか、新しい乾電池に交換してください。

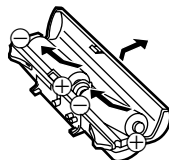
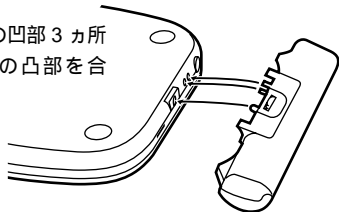
お知らせ

- 点滅してからの CD 演奏／ラジオ受信時間は、電池の種類によって異なります。
- 当社指定以外の充電式電池を使用すると、バッテリー表示が点滅しないことがあります。

さらに長時間演奏／受信するには

付属の外付乾電池ケースに単 3 形アルカリ乾電池（LR6）を 2 本入れて本体に取り付けます。

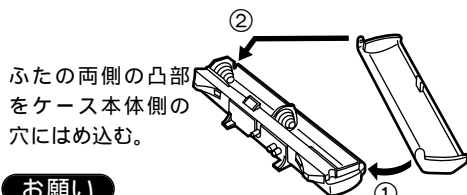
1. 外付乾電池ケースのふたを開け、乾電池を入れる

⊖側を先に入れてください。

2. 本体に取り付ける

3. ねじで止める

取りはずしは逆の手順で行ってください。

お知らせ

- 本体に電池を入れなくても外付乾電池ケースの電池のみで CD 演奏／ラジオ受信できます。
- 本体に入れる電池（乾電池／充電式電池）によって CD 演奏／ラジオ受信時間は異なります。

外付乾電池ケースのふたがはずれたら

ふたの両側の凸部をケース本体側の穴にはめ込む。
② ①

お願い

- 外付乾電池ケースには、充電式電池を入れても使えますが、充電はできません。（なるべく乾電池をお使いください。）
- 外付乾電池ケースに乾電池を入れ、本体に充電式電池を入れて使うときは、それぞれ新品の乾電池とフル充電の充電式電池を使用してください。
- 乾電池 4 本で使用する場合は新旧の乾電池をいっしょに使用しないでください。

AC アダプターで使う

AC アダプターを接続する

接続のしかたは、「充電式電池で使うには」の手順 2（➡7 ページ）を参照してください。

必ず付属の AC アダプター（EIAJ 規格・極性統一形プラグ付）をご使用ください。付属以外の AC アダプターを使用すると故障の原因になることがあります。

長期間使用しないときは

節電のため本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。［■，POWER OFF］を押して電源を切った状態でも、AC アダプターが約 1.8 Wの電力を消費しています。

カー電源アダプター（別売り）で使う

必ず当社指定のカー電源アダプターをご使用ください。（詳しくは、25 ページを参照してください。）

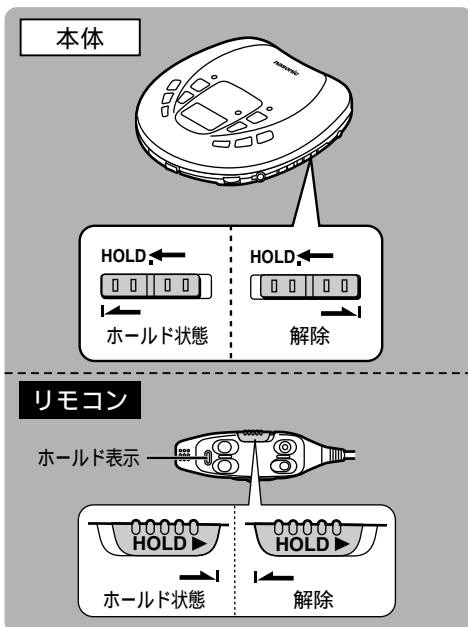
カー電源アダプターを使って自動車内で充電することもできます。

お願い：
操作中に本体が動かなくなるなど、異常が起こったときは AC アダプター、電池などすべての電源をいったん取り外してください。その後、お買い上げの販売店にご相談ください。

ホールド機能

誤ってボタンを押しても、ボタン操作を受け付けないようにする機能です。（ただし、ふたの開閉、音量の調節、演奏モードの切換はできます。）

次のようなことを防ぎます

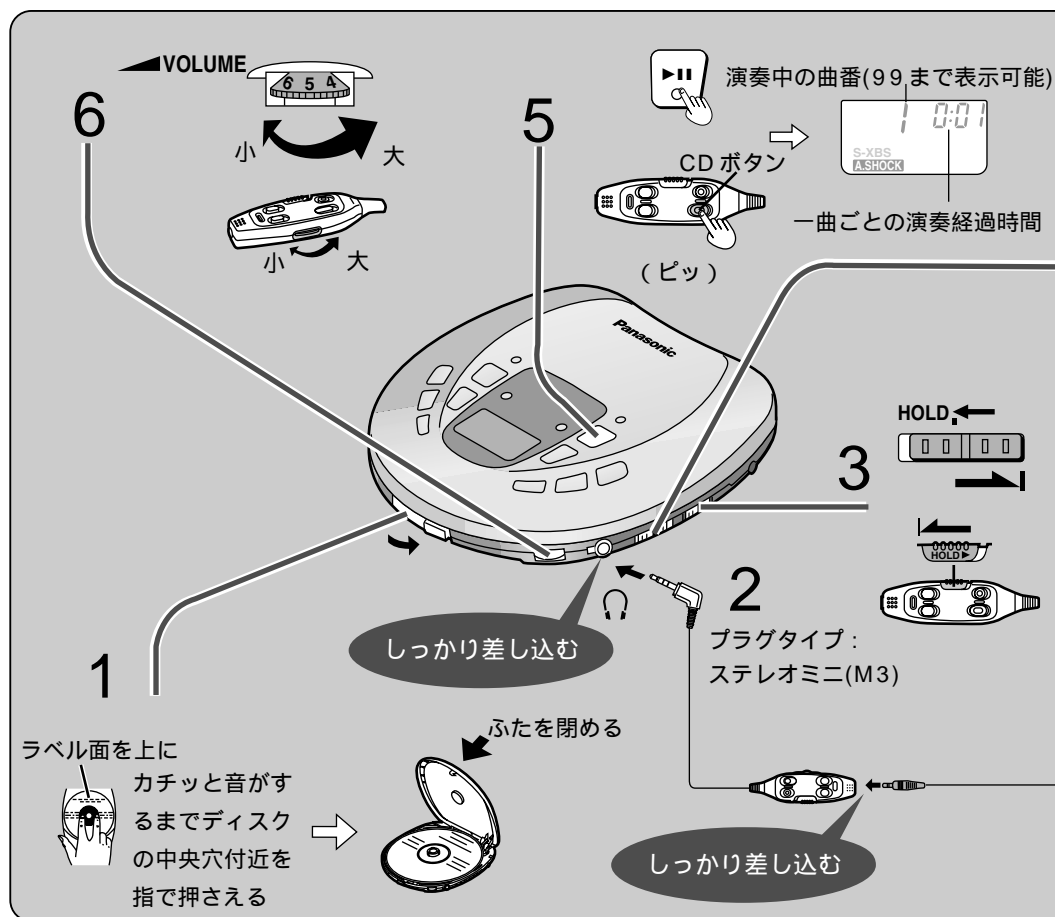
- 知らない間に電源が入る。（電池が消耗する。）
- 使用中に CD 演奏／ラジオ受信が中断する。

本体のホールド機能とリモコンのホールド機能は、別々に働きます。

“hold” 表示について

本　　体： ホールド状態のとき各操作ボタンを押すと “hold” と表示します。（ただし、音量の調節、演奏モードの切換を行っても表示されません。）

ただし、表示パネルに何も表示していない状態のときは［▶❚❚］または［RADIO/BAND］を押したときのみ “hold” と表示されます。

リモコン： ホールド状態にするとホールド表示が緑色に変わります。

CDを聞く

1 **[OPEN ▶] つまみをスライドさせてふたを開け、ディスクを入れる**

2 **リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[🎧] 端子に接続する**

> **注 プラグはグッ！と奥まで差し込む**
> 差し込みがゆるいと音が鳴ってもリモコン操作ができません。

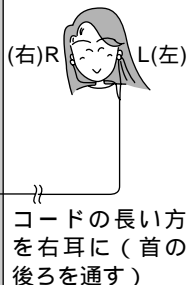
3 **ホールド状態を解除する**

4 **演奏モードを[NORMAL] にする**
本体操作のみ

5 **[▶❚❚] (本体)または CDボタン（リモコン）を押す**

・電源が入り、演奏が始まります。全曲の演奏が終わると自動的に停止します。

6 **音量を調節する**

・リモコン側で音量を調節するときは、本体の[VOLUME]つまみを“4～6”にしてください。

操作	本体	リモコン	表示パネル
演奏を一時停止する（本体操作のみ）	演奏中に押す ▶❚❚ 再開するときはもう一度押す		7 0:18
演奏を止める（停止状態）	演奏中に押す POWER OFF	演奏中に押す （ピッ　ピ）	総曲数 10 44:48 総演奏時間
電源を切る（電源切状態）	停止状態で押す POWER OFF	演奏中または停止状態のときに長押しする（ピッ　ピーッ）	
前後にとび越す（スキップ）	演奏中に押す ●前曲の曲頭に戻るには 2 回[− ❘◀◀]を押してください。 進む + ▶▶❘ TUNING − ❘◀◀ 戻る	演奏中に押す ●前曲の曲頭に戻るには 2 回[−]を押してください。 進む（ピピ） 戻る（ピピピ）	●プログラムプレイ（12 ページ）中は、予約された曲の順序で前後にとび越します。 ●ランダムプレイ（13 ページ）中は、演奏し終わった曲にとぶことはできません。
早送り・早戻しする（サーチ）	演奏中に押し続ける	演奏中に押し続ける	●プログラムプレイ（12 ページ）やランダムプレイ、1 トラックリピートプレイ（13 ページ）中は、演奏中の曲の中だけでサーチします。

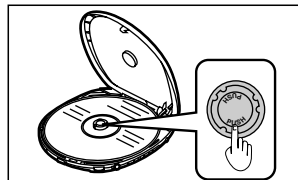
CD を聞くときのリモコンの確認音について

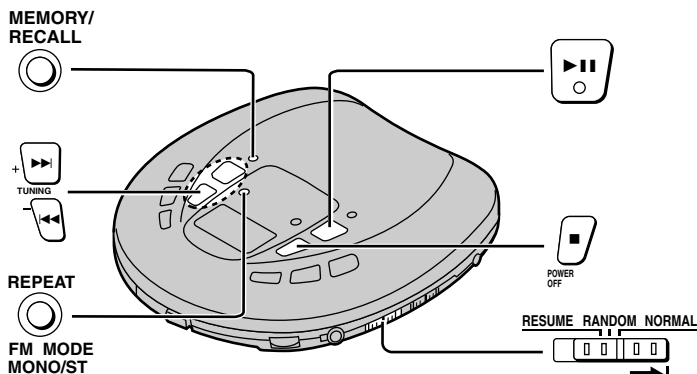
リモコンの操作ボタンを押すたびに、「ピッ」などの確認音が鳴ります。
確認音の鳴り方については、上記図中および表中のかっこ内で説明しています。

“no disc”表示について
ディスクが入っていないとき、またはディスクが装着不完全な状態で［▶❚❚］を押すと、約 30 秒間表示します。

“OPEN”表示について
ふたを開けると、約 10 分間表示します。（ただし、電源切時には表示しません。）

オートパワーオフ機能について
停止状態や一時停止状態で約 10 分間放置すると、電池の消耗をさけるため、自動的に電源が切れる機能です。（ただしディスクが入っていないときは約 30 秒で電源が切れます。）

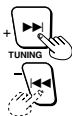
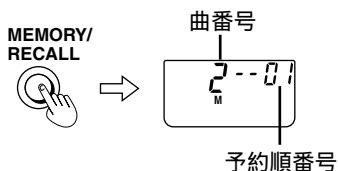
ディスクを取り出すには（プッシュリリース）
ディスクの回転が停止したあと［PUSH］ボタンを押してディスクの固定を解除してください。（ディスクを保護するため、演奏中はふたを開けないでください。）

お願い
本体内部に異物を入れないでください。

CD

予約順に聞く
（プログラムプレイ）

最大 24 曲まで予約できます。

準備：停止状態にする（➡11 ページ）

1 ［NORMAL］に合わせる

2 好みの曲番を選ぶ

3 予約する

（表示パネルに“ M ”表示と予約順の番号が表示されます。）

4 手順 2，3 をくり返し、好みの曲番を予約する

5 ［▶❚❚］を押す

予約順に演奏が始まります。最終予約曲まで演奏して自動停止します。

同じ曲を続けて予約するには
手順 3 のあと、［MEMORY/RECALL］をもう一度押す。

“ F ”が表示されたら
これ以上の予約はできません。（予約曲数が 24 曲を超えています。）

予約内容を確認するには
演奏中に［MEMORY/RECALL］を押す。（表示パネルに、予約された曲番が順に表示されます。）

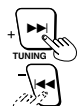
予約をすべて取り消すには
［■, POWER OFF］を押す。

お知らせ
プログラムプレイ中にオールトラックリピート（➡13 ページ）を選んでも予約した曲だけをくり返します。（“ ALL ”は表示されません。）

好みの曲から聞く（スキッププレイ）

準備：停止状態にする（➡11 ページ）

1 ［NORMAL］に合わせる

2 好みの曲番を選ぶ

3 ［▶❚❚］を押す

選んだ曲からディスクの最終曲まで順に演奏して自動停止します。

順不同に聞く（ランダムプレイ）

準備：停止状態にする（➡11 ページ）

1 ［RANDOM］に合わせる

2 ［▶❚❚］を押す

任意の曲順で演奏します。

解除するには

お知らせ

- ［RANDOM］モードでプログラムプレイはできません。
- 停止状態で［+, ▶▶|］ボタンを押して最初の曲を変えることもできます。（どの曲からスタートしても全曲を演奏します。）

くり返し聞く（リピート機能）

演奏中または停止状態のときに押す

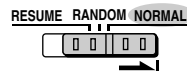
押すたびに以下のように切り換わります。

1 トラックリピート（1 ⟲）
1 曲をくり返す
↓
オールトラックリピート（ALL ⟲）
全曲をくり返す
↓
解除（表示なし）

止めた曲の頭から聞く（リジュームプレイ）

［RESUME］に合わせる

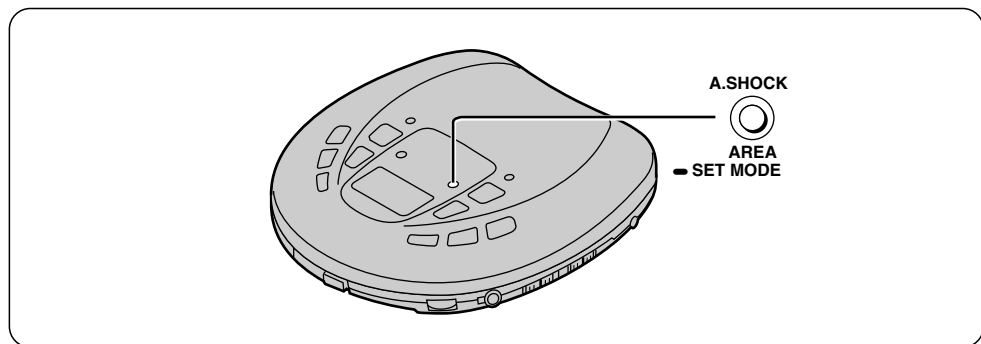
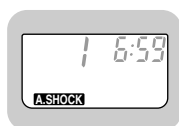
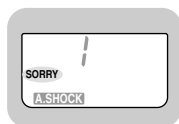
電源を切ったとき（または停止状態に切り換えたとき）の曲の頭から演奏します。
車の中で演奏するときなどに便利です。

解除するには

お知らせ

- 曲の終わり近くで電源を切ったときは、次の曲から演奏が始まることがあります。
- 演奏途中で電源を切って、ディスクを交換すると、前に演奏していた曲の位置が記憶されているため、途中の曲から演奏が始まります。
- 演奏モードを［RESUME］に合わせておくと、電源を入れたときに自動的にオールトラックリピートが働きます。

耐振機能を使う

耐振機能（ANTI-SHOCK MEMORY II）とは

振動を受けたとき、あらかじめためておいた演奏データ**（最大約 40 秒間）**を使うことで、音の途切れを最小限にする機能です。また通常の振動以外に、ディスクの回転方向の振動にも強いしくみを採用しているので、より強力な耐振性を発揮します。

演奏中または停止状態のときに [A.SHOCK, AREA ▬ SET MODE] を押す

“ SORRY ” の表示がでて音が途切れます。

■ANTI-SHOCK 機能を解除するには

もう一度［A.SHOCK, AREA ▬ SET MODE］を押す

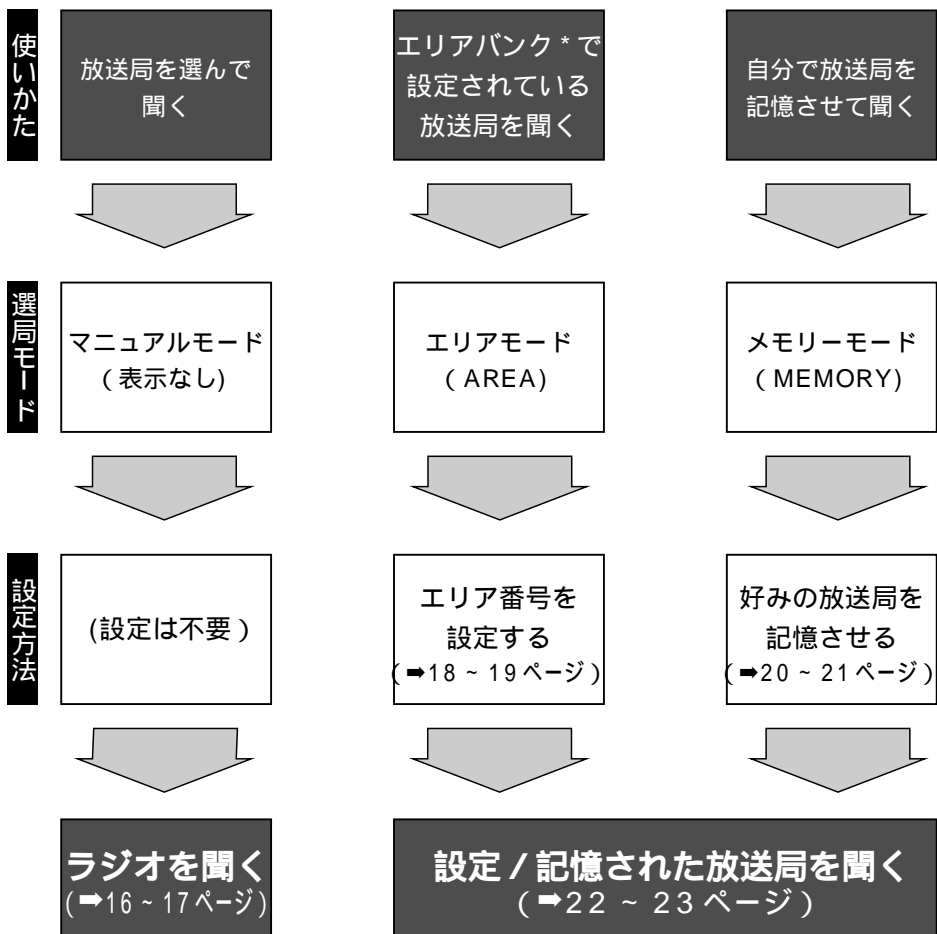
お知らせ

- 耐振機能の操作は、演奏中でもできますが、ディスクの回転数が変化するため、少しの間、音が途切れます。
- ANTI-SHOCK 動作中は、演奏データを蓄えるとき、ディスクの回転数を上げるので、回転音が多少大きくなることがあります。

オーディオシステムで聞くときは

ご家庭のオーディオシステムに接続して聞く場合は（➡25 ページ）、ANTI-SHOCK を動作せずに演奏することをおすすめします。（ANTI-SHOCK 機能は、デジタル信号圧縮技術を使用しています。）

ラジオを聞く前に

本機のラジオは３種類の選局方法があります。

海外で使うとき

「海外で使うには」（➡24ページ）をご参照ください。

＊エリアバンクとは?

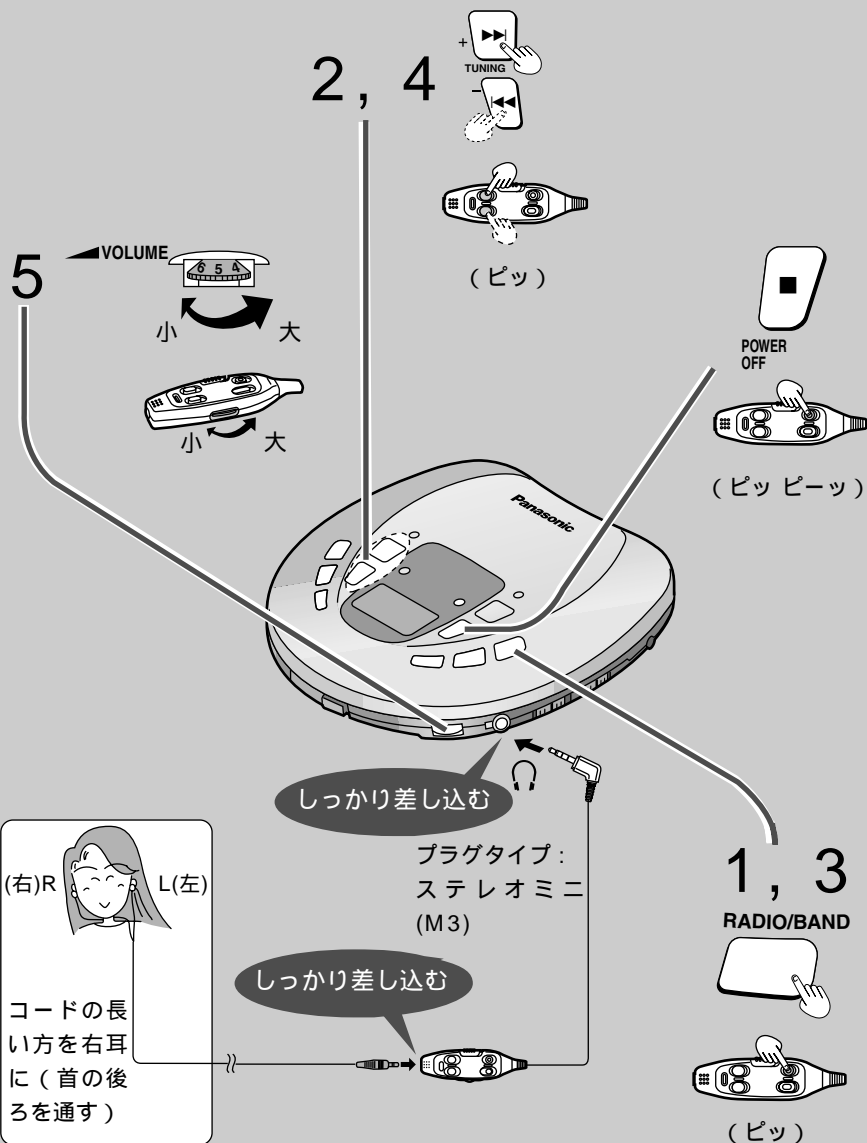
国内の放送局があらかじめ地域（エリア）ごとに記憶されていて、一度地域を設定すると、簡単に放送局を呼び出し、聞くことができる機能です。

ラジオを聞く

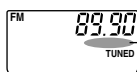
放送局を選んで聞く（選局モード：マニュアルモード）

はじめに
- ●リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[🎧]端子に接続（➡10 ページ）
- ●ホールド状態を解除（➡9 ページ）

●TV1～3ch は、FM の周波数表示の間にあります。
(90.00−1ch−2ch−3ch−76.00)

RQT5496

1 [RADIO/BAND]（本体）または[RADIO]（リモコン）を押して、電源を入れる

2 “ AREA ” または “ MEMORY ” が表示されているときは [TUNING,+,–,▶▶|,|◀◀]を押して、マニュアルモードにする

本体操作のみ

（“ AREA ” または “ MEMORY ” が表示されていないときは手順 2 は不要です。）

3 [RADIO/BAND]（本体）または[RADIO]（リモコン）を押して、バンドを選ぶ

押すたびに AM ⟷ FM(TV1 ～ 3ch)

4 [TUNING,+,–,▶▶|,|◀◀]（本体）または[+], [–]（リモコン）を押して、周波数（TV1 ～ 3ch 含む）を合わせる

お知らせ

- 1.5 秒以上押すと、周波数(TV1 ～ 3ch 含む)をすばやく変えることができます。
- 受信すると “ TUNED ” が表示されます。

5 音量を調節する

リモコン側で音量を調節するときは、本体の[VOLUME]つまみを “ 4 ～ 6 ” にしてください。

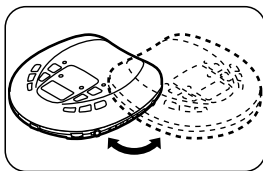
■ラジオの電源を切るには

[■, POWER OFF]（本体）を押すか、または[RADIO]（リモコン）をピッ ピーッと確認音がなるまで押す。

アンテナの調整

AM 放送

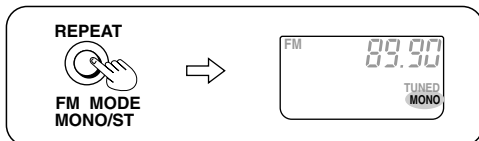
本体の向きを調整する。

（内蔵のフェライトアンテナが働きます）

FM、TV 放送

ステレオインサイドホンコード、リモコンコードを束ねずに、できるだけ伸ばしてください。

（ステレオインサイドホンコード、リモコンコードがアンテナとして働きます）

FM 放送のステレオ／モノラル切換

FM 放送受信中に押す

押すたびに

“ MONO ”⟷ 表示なし（ステレオ）

■ステレオで受信中に雑音が多いとき

モノラル音声にすると、雑音が減って聞きやすくなります。

通常はステレオ音声でお聞きください。

乗物や建物の中では

電波が弱まり聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。

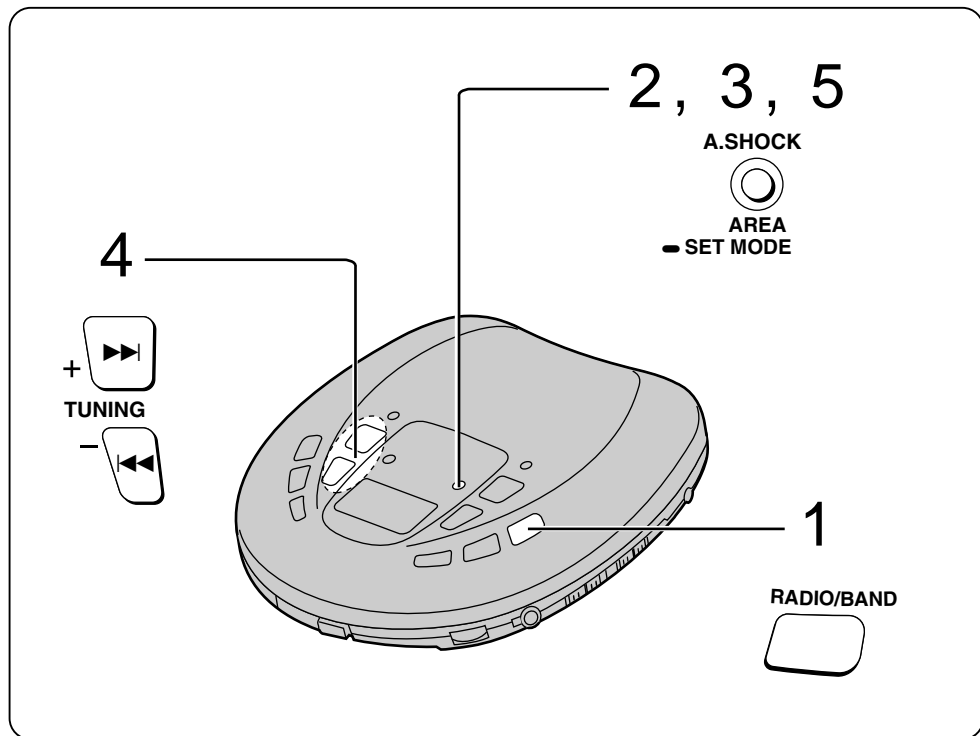
本機の TV 受信回路について

FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに、FM が混信することがあります。

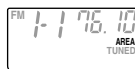
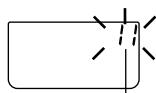
エリア番号を設定する

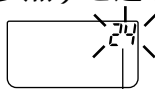
はじめに
- リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[🎧]端子に接続（➡10 ページ）
- ホールド状態を解除（➡9 ページ）
- 本体のボタンで操作

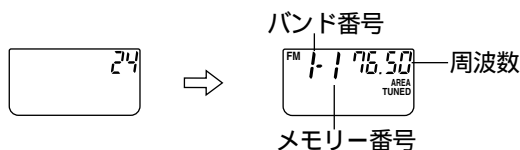
- 本機のラジオをお使いの地域の主な放送局が一度に設定できます。
- 地域により異なりますが、FM（TV1～3ch 含む）、AM とも最大 10 局ずつ設定されます。

2, 3, 5
A.SHOCK
AREA
▬ SET MODE
4
+
TUNING
–
1
RADIO/BAND

1 [RADIO/BAND]を押して、電源を入れる

2 [A.SHOCK, AREA ▬ SET MODE]を押して、“ AREA ” 表示を選ぶ

押すたびに “ AREA ”（エリアモード）<—>“ MEMORY ”（メモリーモード）

3 [A.SHOCK, AREA ▬ SET MODE]を押し続けて、エリア番号を点滅させる

エリア番号

4 表示点滅中（約 10 秒間）に[TUNING,+,−,▶▶|,|◀◀]を押して、現在地のエリア番号（下記参照）を選ぶ

5 表示点滅中に[A.SHOCK, AREA ━ SET MODE]を押す

現在地で聞くことができる放送局のバンドと周波数が、設定されます。

お知らせ

- 各バンド番号（FM1、FM2、AM1、AM2）には最大 5 局まで設定されます。
- エリアバンクで設定されている FM(TV1 ～ 3ch 含む)または AM の放送局数が 6 ～ 10 局の地域では、自動的に次のバンド番号（FM2 または AM2）に放送局が設定されますが、放送局数が 5 局以下の地域では、FM2 または AM2 には設定されません。

■表示点滅中にもとの表示に戻ったときは

手順 3 からやり直してください。

■エリアバンクで設定されている放送局を聞くには

「設定／記憶された放送局を聞く」（➡22 ～ 23 ページ）をご参照ください。

エリア番号一覧表

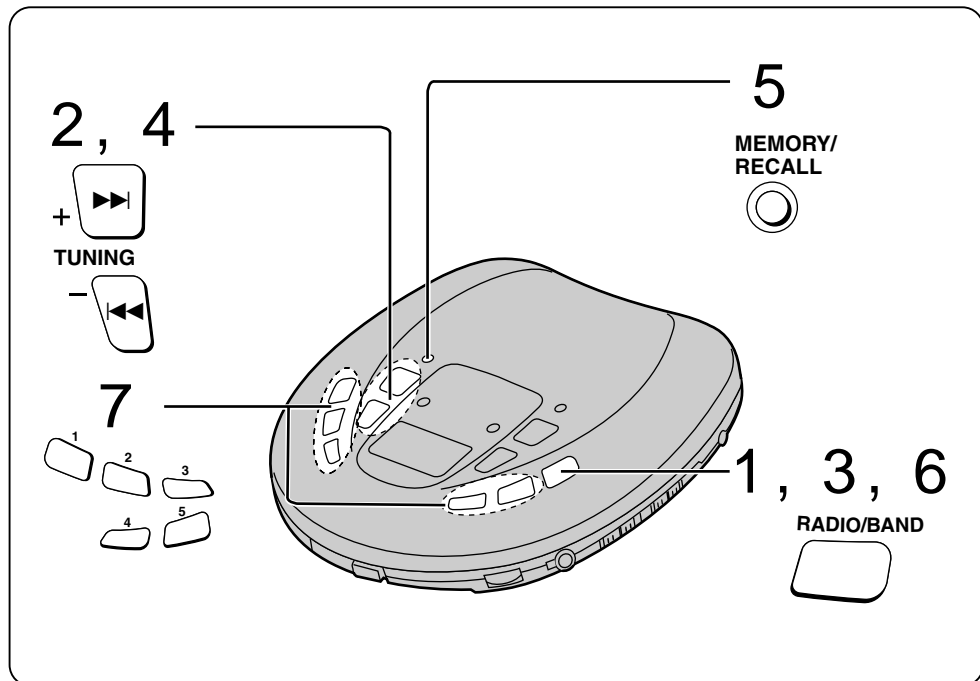
エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	12	甲府	22	奈良	32	高知
2	青森	13	松本	23	和歌山	33	福岡
3	秋田	14	静岡	24	大阪圏（大阪、神戸、京都）	34	北九州
4	盛岡	15	名古屋圏（名古屋、岐阜）	25	鳥取	35	佐賀
5	山形	16	津	26	松江	36	長崎
6	仙台	17	新潟	27	広島	37	大分
7	福島	18	富山	28	山口	38	熊本
8	宇都宮	19	金沢	29	高松・岡山	39	宮崎
9	水戸	20	福井	30	徳島	40	鹿児島
10	前橋	21	大津	31	松山	41	那覇
11	東京圏（東京、横浜、千葉、浦和）					42	JR 新幹線

「JR 新幹線」エリアをご利用の方へ

- JR 新幹線の車内 FM 放送サービスは、主に新型車両内で実施されています。
- 新幹線によって放送している周波数が異なるため、受信できないメモリー番号があります。
- 新幹線では AM 放送・ TV 放送のサービスがないため、「JR 新幹線」エリアでは AM ・ TV の選局ができません。

好みの放送局を記憶させる

はじめに
- リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[🎧]端子に接続（➡10 ページ）
- ホールド状態を解除（➡9 ページ）
- 本体のボタンで操作

- FM(TV1 〜 3ch 含む）は、各バンド番号に 5 局ずつ合計 20 局、AM は、各バンド番号に 5 局ずつ合計 10 局それぞれ記憶できます。
- TV1 〜 3ch は、FM の周波数表示の間にあります。
(90.00－1ch－2ch－3ch－76.00)

1 [RADIO/BAND]を押して、電源を入れる

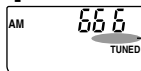
2 “ AREA ” または “ MEMORY ” が表示されているときは [TUNING,+,−,▶▶|,|◀◀]を押して、マニュアルモードにする

AM 66 6 TUNED ─表示なし

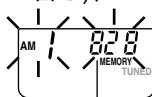
（“ AREA ” または “ MEMORY ” が表示されていないときは手順 2 は不要です。）

3 [RADIO/BAND]を押して、バンドを選ぶ

押すたびに AM ⟷ FM(TV1 〜 3ch)

4 [TUNING,+,−,▶▶|,|◀◀]を押して、記憶させる放送局の周波数(TV1 〜 3ch 含む)を合わせる

お知らせ
- 1.5 秒以上押すと、周波数(TV1 〜 3ch 含む)をすばやく変えることができます。
- 受信すると “ TUNED ” が表示されます。

5 [MEMORY/RECALL]を押して、“ MEMORY ” を表示させる

バンド番号、周波数(TV1 ～ 3ch 含む)、“ MEMORY ” が点滅します。

周波数

6 表示点滅中（約 10 秒間）に[RADIO/BAND]を押して、バンド番号を選ぶ

選んだバンド番号、周波数(TV1 ～ 3ch 含む)、“ MEMORY ” が点滅します。

バンド番号

AM を記憶させる

押すたびに

AM1 ⟷ AM2

FM（TV1 ～ 3ch 含む）を記憶させる

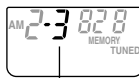
押すたびに

FM1→FM2→FM3→FM4

お知らせ

- 各バンド番号には 5 局ずつ記憶することができます。
- TV1 ～ 3ch を記憶させる場合、バンド番号の “ FM ” は表示されません。
- 周波数(TV1 ～ 3ch 含む)点滅中は[TUNING,+,–,▶▶I,I◀◀]を押して、周波数(TV1 ～ 3ch 含む)を変えることができます。

7 表示点滅中に[1], [2], [3], [4], [5]を押して、メモリー番号を選ぶ

好みの放送局のバンドと周波数(TV1 ～ 3ch 含む)が記憶されます。

メモリー番号

お知らせ

- 使われなかったメモリー番号を消すことはできません。

■表示点滅中にもとの表示に戻ったときは

手順 4 からやり直してください。

■他の放送局を記憶させるには

手順 2 – 7 を繰り返す。

■記憶させた好みの放送局を聞くには

「設定／記憶された放送局を聞く」（➡22 ～ 23 ページ）をご参照ください。

設定／記憶された放送局を聞く

エリアバンクで設定された放送局を選んで聞く（選局モード：エリアモード）
記憶させた好みの放送局を選んで聞く（選局モード：メモリーモード）

はじめに
- リモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、[🎧]端子に接続（➡10 ページ）
- ホールド状態を解除（➡9 ページ）

エリアモード

メモリーモード

4
1 2 3 4 5
（ピッ）

2
A.SHOCK
AREA
SET MODE

+ TUNING −

POWER OFF
（ピッ ピーッ）

5
VOLUME
小 大
小 大

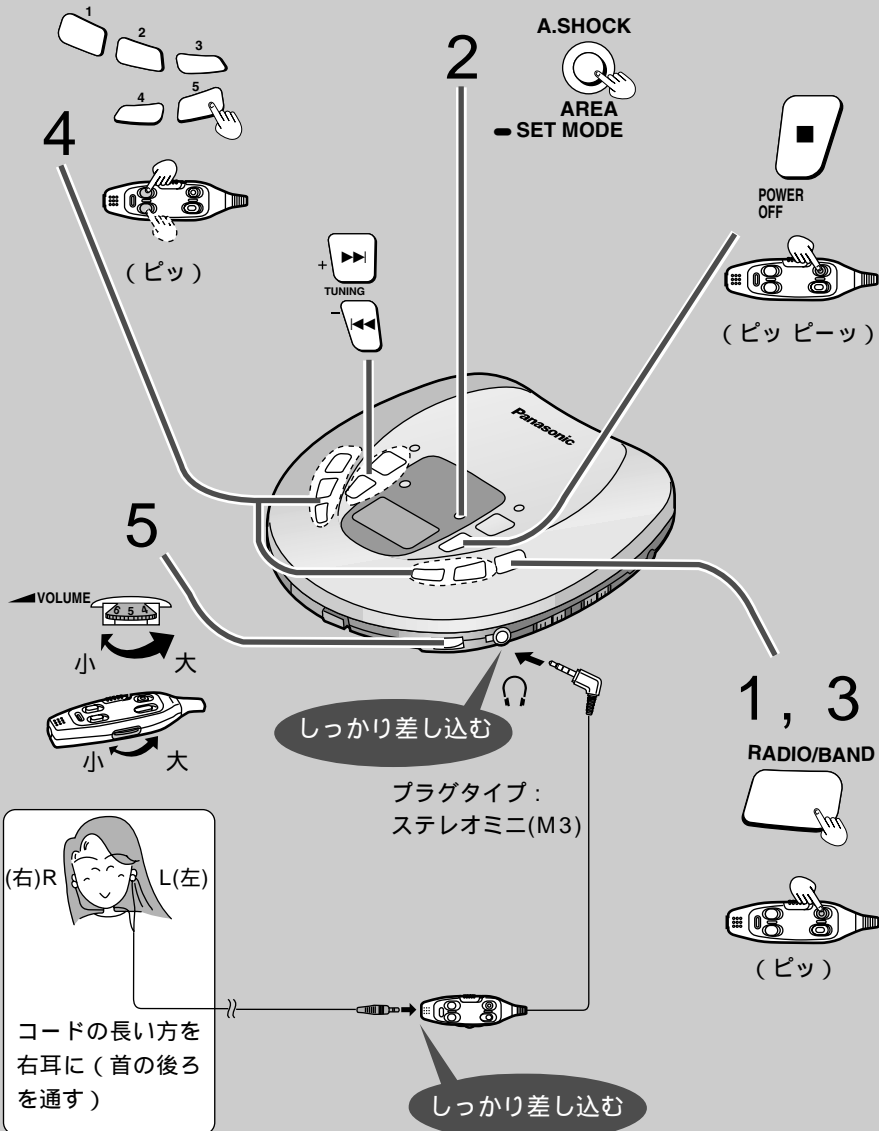
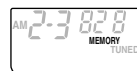
1, 3
RADIO/BAND
（ピッ）

しっかり差し込む

プラグタイプ：
ステレオミニ(M3)

(右)R L(左)

コードの長い方を右耳に（首の後ろを通す）

しっかり差し込む

1 [RADIO/BAND]（本体）または[RADIO]（リモコン）を押して、電源を入れる

2 [A.SHOCK, AREA ━ SET MODE]を押して、“ AREA ” 表示または “ MEMORY ” 表示を選ぶ 本体操作のみ

押すたびに

“ AREA ”（エリアモード）←→“ MEMORY ”（メモリーモード）

3 [RADIO/BAND]（本体）または[RADIO]（リモコン）を押して、バンド番号を選ぶ

エリアモード

押すたびに

FM1→(FM2)→AM1→(AM2)

メモリーモード

押すたびに

FM1→FM2→FM3→FM4→AM1→AM2

4 [1], [2], [3], [4], [5]（本体）または[+], [−](リモコン）を押して、メモリー番号を選ぶ

お知らせ

エリアバンクで設定されている放送局を聞く場合、無効になる（ボタンを押しても表示が変わらない）メモリー番号があります。

例えば、エリアバンクで設定されている FM の放送局数が 4 局の地域では、バンド番号 FM1 のメモリー番号[5]が無効になり、エリアバンクで設定されている AM の放送局数が 2 局の地域では、バンド番号 AM1 のメモリー番号[3], [4], [5]が無効になります。

5 音量を調節する

リモコン側で音量を調節するときは、本体の[VOLUME]つまみを “ 4 ～ 6 ” にしてください。

■エリアモードまたはメモリーモードを解除するには

[TUNING,+,−,▶▶I,I◀◀]を押す。本体操作のみ

■ラジオの電源を切るには

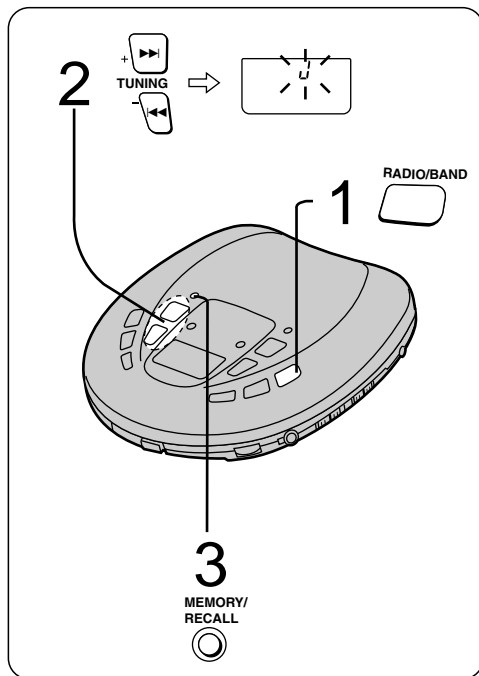
[■, POWER OFF]（本体）を押すか、または[RADIO]（リモコン）をピッ ピーッと確認音がなるまで押す。

ラジオを聞くときのリモコンの確認音について

リモコンの操作ボタンを押すたびに、「ピッ」などの確認音が鳴ります。確認音の鳴り方については、16 ページおよび 22 ページの図中のかっこ内で説明しています。

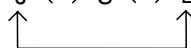
海外で使うには

地域によって受信周波数ステップが異なります。海外で使用するときは、ステップを切り換えてください。

はじめに
- ホールド状態を解除（➡9 ページ）
- 本体のボタンで操作
- [RADIO/BAND]を押して、ラジオの電源を入れる

1 [RADIO/BAND] を約 5 秒押し続けて、ステップを点滅させる。

“ J ” などのステップが表示されます。

2 表示点滅中に[TUNING,+,−,▶▶|,|◀◀]を押して、地域に合わせてステップを選ぶ。

押すたびに、“ **J** ”⟷“ **U** ”⟷“ **E** ”

J(日本国内)　:FM 0.10 MHz, AM 9kHz
U　　　　　　:FM 0.10 MHz, AM 10kHz
(北米、中南米、東南アジアの一部)
E　　　　　　:FM 0.05 MHz, AM 9kHz
(ヨーロッパ、東南アジア)

3 表示点滅中に［MEMORY/RECALL］を約 5 秒押し続ける。

点滅が消え、ステップが記憶されます。

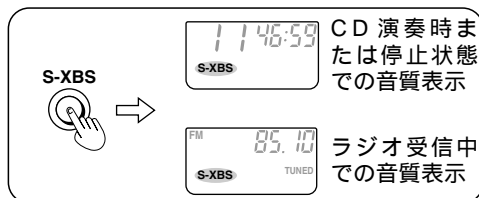
お知らせ

ステップを切り換えると記憶させた放送局（➡20 ～ 21 ページ）は消えます。

海外ステップ（U：U. S. A, **E ：** Europe）**のとき‥‥**
- TV 受信ができません。
- 受信周波数帯域が変わります。
- エリアバンク機能は使えません。

音質を変えて楽しむ

音楽に合わせて、重厚で迫力のある音で音楽を楽しめます。

CD 演奏中、**停止状態**（➡11 ページ）
または**ラジオ受信中**に押す。 **本体操作のみ**

S-XBS

CD 演奏時または停止状態での音質表示

ラジオ受信中での音質表示

押すたびに
“ S-XBS ”⟷ 表示なし（解除）

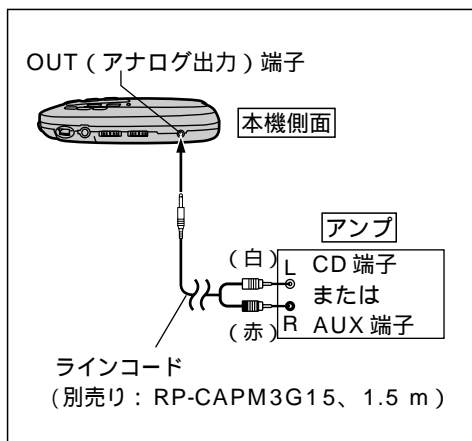
S-XBS	：迫力ある重低音で聞く。 ●音がひずむときは音量を下げてください。
表示なし（解除）	：普通の音質で聞く。

お知らせ

この機能は[OUT]端子にははたらきません。

別売り品と組み合わせて使う

別売り品の品番は、2000年3月現在のものです。品番は変更されることがあります。

オーディオシステムに接続する

- アンプの電源を切ってから接続してください。
- アンプのプレーヤー（PHONO）端子には接続しないでください。
- アンプ側がミニホンジャックのときは接続コード（別売り：RP-CAM3G15、1.5 m）をお求めください。
- 音量はアンプ側で調節してください。
  [OUT］端子に接続した場合は、本体での音量調節はできません。
- アンプ側からFM、TV放送を楽しむ場合、本機のリモコンとステレオインサイドホンをつなぎ、本体のヘッドホン端子（🎧）に接続し、コードを束ねずに、できるだけ伸ばしてください。
  リモコンコード、ステレオインサイドホンコードがアンテナとして働きます。

外部スピーカーで聞く

ステレオスピーカーを本体のヘッドホン端子（🎧）に接続して使う場合、下記の品番のいずれかをお求めください。
- RP-SP15/RP-SP18

アンプ内蔵（音を増幅する）タイプ
- RP-SP30
  本体の音量は“4～6”に合わせてください。

アクティブスピーカーなどをご使用の場合は、入力インピーダンスが1 kΩ以下のものをご使用ください。

カーオーディオに接続する

■カーマウントキットで本体を車に取り付けて使う場合

カーマウントキット（SH-CDF9）と、カーステレオカセットアダプター（SH-CDM10A）をお求めください。

カーマウントキット（SH-CDF9）の内容
- カー電源アダプター
- カーマウントアーム
- カーインシュレーター

■カーマウントキットを使わない場合

カー電源アダプター（SH-CDC9）と、カーステレオカセットアダプター（SH-CDM10A）をお求めください。

お願い

カーマウントキット、カーステレオカセットアダプター、およびカー電源アダプターは、必ず指定の品番のものをお使いください。
上記のかっこ内が品番です。

カーステレオカセットアダプターは本体のヘッドホン端子（🎧）に接続し、本体の［VOLUME］つまみを“4～6”に合わせてください。

お知らせ

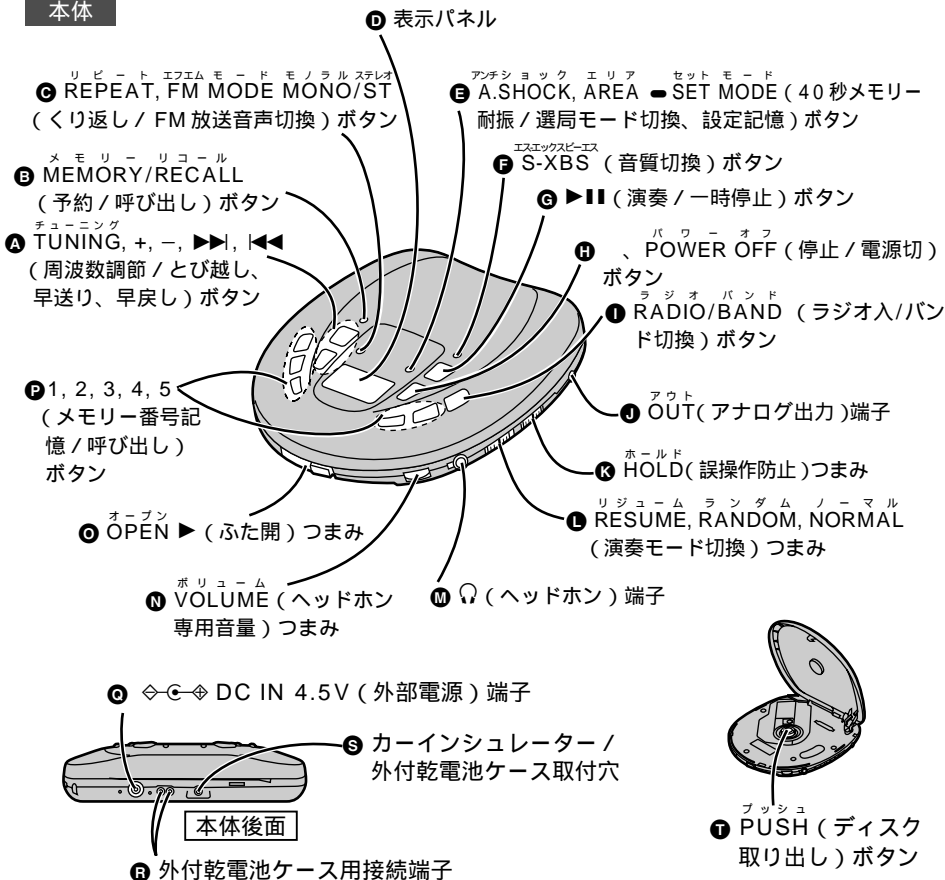
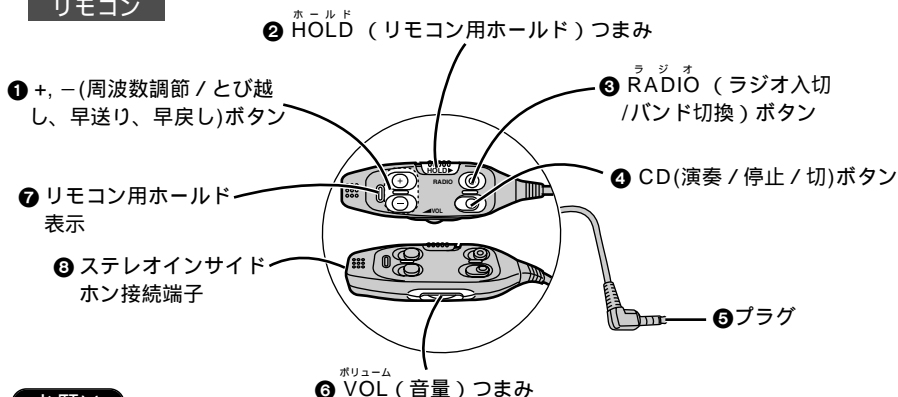
カーマウントキットまたはカーステレオカセットアダプターの構造上、車種やカーステレオによっては使用できないものもあります。

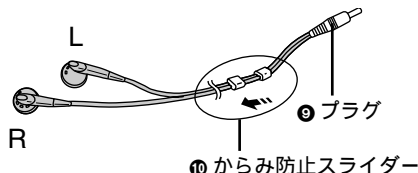
別売りインサイドホンを使う

リモコンに接続できるインサイドホン（ジョイントホン）をお求めください。
- RP-HJ535／RP-HJ237
  （レギュラーサイズ）
- RP-HJ335（新ぴったりホン）
- RP-HJ333／RP-HJ313
  （スモールサイズ）

別売り充電式電池を使う

単4形専用充電式ニッケル水素電池
- HHR-4AH/2B（2本組）

各部のなまえ

お願い

付属以外のリモコンは誤動作の原因となりますので
使用しないでください。

Main unit

Ⓐ Tuning/skip/search buttons (TUNING, ＋, －, ▶▶|, |◀◀)
＋, ▶▶| Forward; increase the frequency
－, |◀◀ Backward; decrease the frequency
Skip forward/backward:
Press during play.
Rapid forward/backward:
Press and hold during play.

Ⓑ Memory/recall button (MEMORY/RECALL)
Program up to 24 tracks on the disc in any order you choose.
Program play
After selecting the desired track number, press once.
Check what has been programmed:
Press during play.

Ⓒ Repeat, monaural/stereo button (REPEAT, FM MODE MONO/ST)
1 track repeat function
All track repeat function
Selection of stereo or monaural FM
Press during FM reception.

Ⓓ Display

Ⓔ Anti-shock, radio mode selection button (A. SHOCK, AREA ▬ SET MODE)
This unit is equipped with an area bank function that allows you to easily preset stations in 41 regions and on Japan Shinkansen Railways (equipped with on-board FM broadcasts only).
You can store stations in Area Mode or Memory Mode to make tuning simpler.
Selection of Area Mode or Memory Mode
Press to display “AREA” or “MEMORY”.

Ⓕ S-XBS button (S-XBS)
S-XBS:For the extra bass sound.

Ⓖ Play/pause button (▶❙❙)
In the stop mode :Press once to play.
In the play mode :Press once to pause, press again to resume play.

Ⓗ Stop/operation off button (■, POWER OFF)

Ⓘ Tuner on/band select button (RADIO/BAND)
Every time you press the button, the display changes as follows:
“AM”⟷“FM”
For use overseas
①Press and hold [RADIO/BAND] while the setting (e.g. “J”) is displayed.
②Press [TUNING,＋,－, ▶▶|, |◀◀] to select the allocation setting.
Every time you perform the procedure, the allocation setting changes as follows:
“J”⟷“U”⟷“E”
↑__________↑
③While the setting is displayed, press and hold [MEMORY/RECALL].

Ⓙ Out jack (OUT)

Ⓚ Hold switch (HOLD)
This function prevents the unit from operating even if a button is pressed in error. It prevents situations such as :
A. Play starting accidentally while not in use, causing the batteries to run down.
B. Play is interrupted while the unit is in use.

Ⓛ Play mode selector (RESUME, RANDOM, NORMAL)
RESUME (resume play)
Play can be resumed from the start of the track which was playing when the stop mode was last selected or when power was last turned off. This is useful when playing discs inside a car.
RANDOM (random play)
This function automatically selects a sequence of tracks to be played in random order.
NORMAL
Use except resume and random play.

Ⓜ Headphone jack (🎧)

Ⓝ Volume control (VOLUME)

Ⓞ Open switch (OPEN ▶)

Ⓟ Preset channel buttons (1, 2, 3, 4, 5)
Press during radio reception to select a memory number to store the station's frequency.

Ⓠ DC IN jack (⊖-◐-⊕ DC IN 4.5V)

Ⓡ Connection terminals for battery case

Ⓢ Hole for car insulator mounting screw/battery case

Ⓣ CD release button (PUSH)
Press to release the disc.

Wired remote control

❶ Tuning/skip/search buttons (＋, －)
❷ Hold switch (HOLD)
❸ Tuner on/off/band select button (RADIO)
❹ CD (play/stop/off) button
❺ Plug
❻ Volume control (VOL)
❼ Hold indicator
❽ Connection terminal for stereo earphones

Stereo earphones

❾ Plug
❿ Slider
Slide up to prevent entangling of the cord when the stereo earphones are not in use.

使用上のお願い

本体

以下のことは故障の原因となりますので、避けてください。

- 強い衝撃や落下
- 雨に濡らす
- 風呂場など、湿気の多いところでの使用
- 倉庫など、ほこりの多いところでの使用
- 暖房器具の近くなど、温度が高いところでの使用

インサイドホン

- 迷惑にならない適度な音量でお楽しみください。
- 本体に巻き付けるときは、コードにたるみを持たせてゆるく巻いてください。

充電式電池

- 充電は、5 ℃～ 40 ℃の場所で行ってください。
- 初めて充電するときや、長期間使用しなかった後では、充電しても通常の演奏／受信時間より短いことがあります。その場合は、何回か充・放電させてください。通常の状態に戻ります。

お手入れ

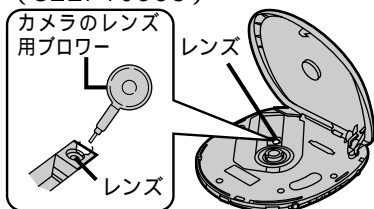
本体のお手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

レンズのお手入れ

ふたを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。万一指紋などがついた場合は、綿棒で軽くふいて下さい。

推奨品：CD レンズクリーナーキット
（SZZP1038C）

お知らせ

CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

CD について

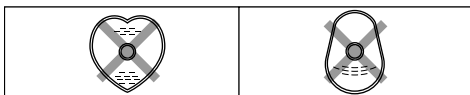
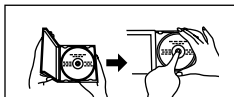
COMPACT disc DIGITAL AUDIO このマークが入ったものをご使用ください。

ただし、ハート型など特殊形状の CD は演奏できない場合があります。また演奏できる場合でも継続してご使用になると、本体の故障の原因となります。

出し方

入れ方

持ち方

演奏面には手を触れない

汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

演奏面（光っている面）
内側から外側へ

露がついたら

急に暖かい部屋に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

保管しておくとき

次のような場所はさけてください。

- 直射日光の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 自動車のダッシュボードの上や、リアウィンドウの近く

取扱上のご注意

CD そのものの破損の原因となる他、本体の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなど、当社指定外の市販品は使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

主な仕様

CD 部

■オーディオ(Anti-shock off)

チャンネル数： 2 チャンネル（ステレオ）
周波数特性： 20 Hz～20,000 Hz（＋ 0.5 dB ～－ 1.5 dB）
出力電圧： 0.6 Vrms（50 k Ω負荷時）
S/N 比： 96 dB 以上（EIAJ）
ワウ・フラッター： 測定限界以下（EIAJ）
D/A コンバーター： 1 ビット MASH
ヘッドホン出力レベル：
最大 9 mW ＋ 9 mW/16 Ω負荷（可変）

■信号フォーマット

標本化周波数： 44.1 kHz

■ピックアップ

光源： 半導体レーザー
波長： 780 nm

ラジオ部

■周波数

受信周波数範囲; FM; 76.00- 90.00 MHz/ TV 1-3 CH
(0.10 MHz ステップ)
87.50- 108.00 MHz/
(0.10 MHz/ 0.05 MHz ステップ)

AM; 522-1629 kHz
(9 kHz ステップ)
520-1710 kHz
(10 kHz ステップ)

■総合

電源： DC 4.5 V
消費電力：

使用電源	CD(Anti-shock 切／入)／ラジオ
AC アダプター	2.2 W/2.4 W/1.8 W

充電時の消費電力： 4.9 W

最大外形寸法（幅×高さ×奥行）：
128.4 × 26.5 × 131.9 mm(EIAJ)
質量： 約 218 g（付属充電式電池含む）
約 196 g（電池含まず）
使用温度範囲： 0 ℃～ 40 ℃
充電温度範囲： 5 ℃～ 40 ℃

CD 演奏／ラジオ受信時間（EIAJ 規格）

(温度 25 ℃で、耐振機能を解除し、水平に安定した状態で使用したときのおおよその CD 演奏／ラジオ受信時間。)
CD 演奏／ラジオ受信時間は使用条件によって短くなる場合があります。

使用電池	CD 演奏時間(Anti-shock 切／入)／ラジオ受信時間
Panasonic 単 4 形アルカリ乾電池（2 本）	約 9 時間／約 12 時間／約 27 時間
Panasonic 単 3 形アルカリ乾電池（2 本、付属乾電池ケース使用時）	約 22 時間／約 28 時間／約 66 時間
付属ニッケル水素充電式電池（約 3 時間充電時）	約 6 時間／約 8 時間／約 18 時間
Panasonic アルカリ乾電池（4 本、付属乾電池ケース使用時）	約 33 時間／約 43 時間／約 100 時間
付属ニッケル水素充電式電池（約 3 時間充電時）＋ Panasonic アルカリ乾電池（付属乾電池ケース使用時）	約 28 時間／約 36 時間／約 84 時間

電源「切」時の消費電力
…………1.8 W（AC のとき）

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください。）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■修理を依頼されるとき

裏表紙の「故障かな！？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、ポータブルCDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

使いかた・お買い物のご相談は

フリーダイヤル（料金無料）

0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時〜20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444
Osaka (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号）

☎ 0570-087-087（パナ パナ）

- お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西１９条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	**函館**	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (0177)39-9712	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	**山形**	山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	**福島**	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

地域	住所	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地域	住所	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	住所	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	住所	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地域	住所	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	住所	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	住所	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0100

故障かな!?

修理を依頼する前に、この表で症状をお確かめください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをチェック	これでOK!
演奏できない	A. HOLD状態になっていませんか。 B. ディスクは正しく固定されていますか。 C. 露がついていませんか。	A. HOLD状態を解除する。 B. カチッと音がするまで指で押さえて固定する。 C. 約1時間待ってから使用する。
音が聞こえない 音が聞こえにくい 雑音がする	A. インサイドホンプラグまたは、リモコンプラグが奥まで入っていますか。 B. プラグが汚れていませんか。 C. 本機と携帯電話を近づけて使っていませんか。	A. しっかりと差し込む。 B. プラグの汚れをきれいにふきとる。 C. 本機から携帯電話を離す。
1曲目から順番に演奏しない	演奏モード切換つまみを[NORMAL]以外に合わせていませんか。	演奏モード切換つまみを[NORMAL]に合わせる。
充電できない	付属、または指定の別売り充電式電池をお使いですか。	7ページの「充電式電池の買い替えは」をお読みください。
テレビの画面が乱れる 本機以外のラジオ放送に雑音が入る	本機をテレビやステレオ機器のチューナーの近くで使っていませんか。	テレビやチューナーのアンテナが簡易アンテナの場合は、専用のアンテナと取りかえる。
正確に受信できない TV(1～3ch)が聞けない	A. 現在地のエリア番号を選んでいますか。 B. 周波数ステップが海外向けになっていませんか。	A. 18ページの「エリア番号を設定する」をお読みください。 B. 24ページの「海外で使うには」をお読みください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎ (　　　)　　　－	お買い上げ日	年　月　日
お客様ご相談窓口	☎ (　　　)　　　－	品番	SL-SX469V

松下電器産業株式会社　デジタルAVネットワーク事業部

〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号

RQT5496-S
F0400YH0

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）　2000